

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十七年 一月度 入選句（投稿総数千五百六十一句・小中学投句数千九十句）

特選

ふくわらいだれが 一ばんおもしろい 大垣市 大橋 楽夢音(小二)

新年の遊びで目かくしをした人がお多福の顔の輪郭だけが描かれた紙の上に、眉・目・鼻・口等を型どった顔のパーツをおいて、出来上がりを皆で見合つて楽しむ古くから伝わる遊びです。最近あまりおなじみではありませんが、まだ伝統的な遊びを大切にされていらつしやるご家庭ですね。とても温かいご家庭である様子が伺われます。

作者をはじめ、家族の皆とこの福笑いをされ、笑えましい、和やかな時間を過ごされているのだなあとお感しました。その様子を素直に詠まれたですね。まだ続けたいですね。

雪たちが私のかみのけそめてゆく 大垣市 青柳 すえみ(小六)

雪の降る日の様子を素直に感じとられたですね。

ちらちらと降る雪の中を傘もささずにいる作者は、そのうちやむだろうと思つていたのでしょ。ふと気がついて見ると自分の髪の毛にもすっかり雪がつもつているのに気づき、その変身ぶりを素直に詠まれたですね。作者は、発見や気づき、感動などを大切にされているんですね。すばらしいですね。

ななくさでつかれたおなかひと休み 大垣市 渡辺 凜歌(小三)

最近はお正月だけでなく、日頃から食卓には、豊富な副食が並ぶ今日この頃です。ましてや松の内中はお餅やお節料理などカロリーの高めの食事がどのご家庭も多いことと存じます。作者のご家庭も健康に気をつけていらつしやるんですね。七種粥の日を大切にされ、ご自身を振り返り詠まれてすばらしいですね。

秀逸

雪の子はどこまでいくのだいじょうぶ 大垣市 松岡 優奈(小二)

ゆきだるままるまる太りおすもうさん 大垣市 増田 遥仁(小三)

はつすべりきれいなきよくせんえがいてる 大垣市 飯田 実優(小三)

図かん見て食べる七草意味を知る 大垣市 山村 心愛(小四)

手についたつきたてもちをなめてとる 大垣市 近藤 立哉(小四)

けんび鏡雪の結しよう見えるかな 大垣市 本郷 李怜(小五)

福笑い目かくしはずすひどい顔 大垣市 山本 達也(小五)

初もうでおみくじ引いて運だめし 大垣市 酒本 瞳(小六)

すみわたる夜空にいばるオリオン座 大垣市 久保 良汰(小六)

書き初めに気持ちこめて筆にぎる 大垣市 黒沢 けんじ(小六)

入選

なべのゆげめがねくもったおとうさん 大垣市 田中 りん(小二)
 こままわすわたしの目までまわってる 大垣市 棚橋 万桜(小二)
 あみの上ふくらむおもちほほのよう 大垣市 吉岡 たいき(小二)
 あやとりでとられてとっていつまでも 大垣市 かげ山 りの(小二)
 一番のりねむいのがまんはつもうで 大垣市 杉原 勇次(小二)
 お正月親せきたちと輪になった 大垣市 川瀬 唯華(小四)
 雑に食べみんなでわいわい輪でかこむ 大垣市 栗野 奏音(小五)
 おばあちゃん手を休めては毛糸編む 大垣市 金谷 桃奈(小六)
 年賀状おくりおくりられ良い気分 大垣市 西脇 舜(小六)
 元日に百人一首大惨敗 大垣市 西村 理紗子(小六)

入選

ようかいがいるかもしれないさむいよる 大垣市 なわ みゆう(小一)
 サンタさんゆめのなかでこんばんは 大垣市 長澤 まみ(小一)
 たこあがる大きな空でおどりだす 大垣市 山村 咲絢(小二)
 お正月むかしのあそびいっぱいだ 大垣市 itou しゅん理(小二)
 お正月おもちとほっぺふくらんだ 大垣市 川瀬 未祐(小二)
 へんなかおみんながわらうふくわらい 大垣市 itou ゆうわ(小二)
 ななくさをことばにだしてたべるんだ 大垣市 森本 彩乃(小二)
 除夜の鐘聞きながら行く初もうで 大垣市 平田 ひなの(小三)
 かるたとり必死な弟笑えたな 大垣市 伊藤 賢心(小四)
 おじいちゃん熱燗飲んでりんご顔 大垣市 佐藤 もえ(中一)

選者吟

糸ゆるみ絵凧の武者のゆがみけり

勝子